

日々の田高（学校まわりのカンツバキやウメが咲いています）

グラウンドと校舎の間の通路や正門脇の植え込みにあるカンツバキ、グラウンドの新幹線側の植え込みのウメが花をつけています。寒空の中、赤系の花が、彩ります。

そこで、カンツバキについて調べ始めると、様々な分野に広がり、奥が深いです。

例えば、植物としての研究対象にもなりますし、神社の社紋、室町期の茶の湯、椿油、椿サミットというイベントもあるようです。

そのほか、椿を通じた「町おこし」、「文学」「歴史」「文化」「化学」にもつながります。本当に、一つことから様々に広がります。それだけ、椿が私たちの生活の身近にあるということかもしれません。

身の回りの物や事から、調べ始めて、はまってみるのもいいかもしれませんね。

